

ACTIONOSP!

持続可能な未来のために、できることを



OSP GROUP
for SDGs



未来につなげるパッケージ
SUSTAINABLE PACKAGE

石灰石が主原料 環境負荷を軽減

「LIMEX Sheet」は、株式会社TBMが石灰石を主原料として開発した製品です。ラベル用途として一般的に用いられるPP(ポリプロピレン)やPET(ポリエチレンテレフタレート)シートなどの合成紙と比較し、石油由来プラスチック使用量、ライフサイクル全体でCO₂を含む温室効果ガス排出量を軽減することができます。



※一般的なPP・PETシートの合成紙比較



国内でも自給自足可能な石灰石



※イメージ

ライメックスシート LIMEX Sheetを基材に使用したラベル



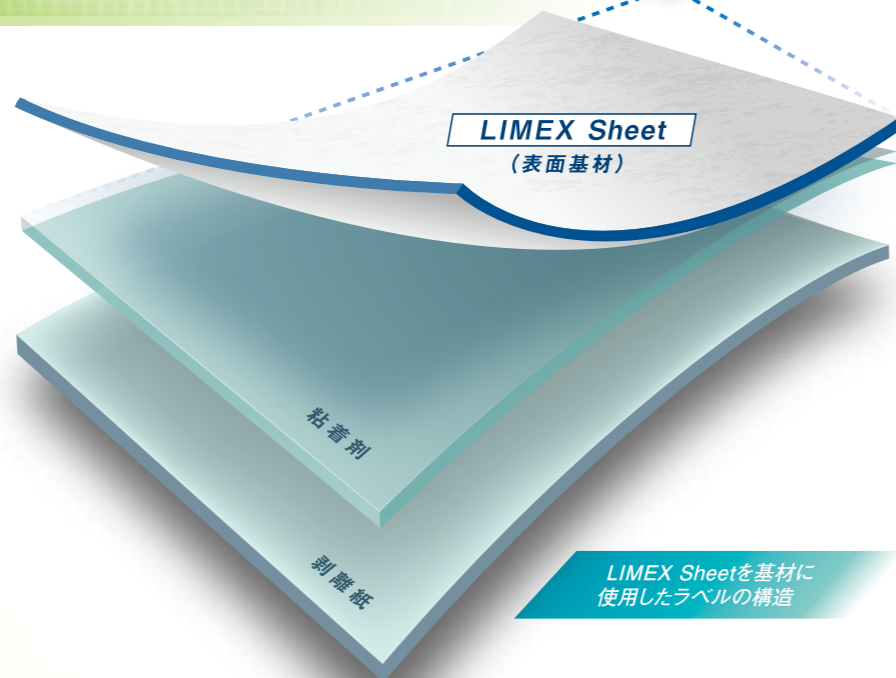
優れた
耐久性と耐水性

マットな艶感が高級感を演出

※イメージ



詳しくはHPへ!



LIMEX Sheet
(表面基材)

粘着剤

剥離紙

LIMEX Sheetを基材に
使用したラベルの構造



製品・サービスについてのご相談や
お問い合わせはOSPホームページから!

お見積りやご質問などの相談も、お気軽にお問い合わせください



お問い合わせフォームへ

プリオ「大阪の印刷」2024 6月号

PRINTING OF OSAKA

PRI・O

JUNE 2024
プリオ
No.789

高本隆彦理事長 新体制が発足
大印工組の提供サービスを通じて、新たな価値創造にチャレンジ

PRI・Oトップ対談 Vol.38 浦久保 康裕氏、高本 隆彦氏

2024年(令和6年)6月1日発行
第70巻 第6号 通巻第789号

発行所/大阪府印刷工業組合
大阪市都島区中野町4-4-2

発行人/高本隆彦

電話06-6353-3000

定価330円(税込)



うちわって
いろんな種類が
あるのね!

詳しくは
12・13ページへ!

うちわ 推し

発行元(編集部)
大阪府印刷工業組合
〒534-0027 大阪市都島区中野町4-4-2

6
2024



Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。



フォントのサブスクリプションサービス

豊富な書体ライブラリー / 複数デバイスでの利用 / 簡単なフォントインストール

morisawafonts.com



次世代に対応する 「印刷+α」の人づくり

大阪府印刷工業組合 理事長
大興印刷(株) 代表取締役

高本 隆彦

今年に入り、日経平均株価はバブル期を超えて4万円台を記録しました。経営の潮流も変わりつつあります。今までは成長よりもコストの削減による利益の確保が優先されてきました。しかし、これからは社会での存在意義を重視する「パーパス経営」やESG(環境・社会・企業統治)を意識した経営が広がり、株主ら特定のステークホルダーだけに重きを置く経営は過去のものになりつつあります。

日本印刷技術協会(JAGAT)の調査では「脱印刷」を目標に掲げる企業数が過去最高を記録しました。誰もが「今のまま現状の仕事が続けることに限界を感じている」のだと思います。5年先の未来であれば現状を維持しても企業経営は成り立つかもしれません。しかし、10年先・20年先の未来を想像すると、きつと「自社のあるべき姿」は変わっているはず。

そうであるならば、未来を見越して、今すぐ行動を変える必要があります。当組合においても、今までの経営を引き継ぎ、あるものをあるがままにただ守るのではなく、ベンチャーマインドを忘れず課題に取り組み、各組合員企業の皆様の業態変革の一助となる活動を心がけます。

これからは過去から引き継いだ有形無形の組合資産を最大限に活かし、組合員の増強につなげる攻めの運営に転じて、印刷業界の枠を超えた周辺の産業と積極的に繋がり・協創する「情報産業のハブ」になり「産業の枠を拡げる」、そして「組合員各社の可能性を拡げる」。この3つの軸を核に活動・推進します。

そして、浦久保前理事長が掲げた「次の時代を力強く切り開く超越経営者の育成」という想いを継承し、「ものづくりの印刷工業組合」から次世代の「印刷+α」へと、大阪府印刷工業組合の提供事業・サービスを通じて新たな価値創造ができる改革にチャレンジしてまいります。

ひとりでは考えているだけでは『悩み』ですが、誰かと話すと『思考』になります。どこかの委員会に所属していただけば、仲間と対話することによって、きつと、ご自身の考えがブラッシュアップされるはず。

大阪府印刷工業組合は小さな会社が集まっている団体です。一社一社の力は微力ですけれども、無力ではありません。正しく群れると大きな力になると考えています。

皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

高本隆彦理事長 新体制が発足

大印工組の提供サービスを通じて、
新たな価値創造にチャレンジ



浦久保康裕

大阪府印刷工業組合
第14代理事長
株式会社一心社 代表取締役社長

PRI・O
トップ対談

高本隆彦

大阪府印刷工業組合
新理事長(第15代)
大興印刷株式会社 代表取締役

コロナ禍の2020年5月から2期/4年、
大阪府印刷工業組合(以下、大印工組)理事長の大役をまっとうされた浦久保康裕氏。
「共済」「対外窓口」「連帯」の3つを柱に存在意義のある印刷組合を目指し、
さまざまな改革を実行してこられました。

そして2024年5月、第15代となる理事長のバトンを引き継ぎ、
「ものづくりの印刷工業組合」から「印刷+a」へと
新たな価値創造ができる改革にチャレンジすると
所信表明された高本隆彦氏。
今回が最終回となる理事長対談では、
大印工組の新たな価値を創造していくための
組合運営について新旧理事長に熱く語っていただきました。

事業開発 正しく群れる・可能性を拡げる

浦久保: 高本新理事長をはじめ、周囲の方たちに支えていただき2期/4年の大印工組・理事長職をまっとうすることができましたことに、まずは心から感謝申し上げます。この4年を振り返って思うのがやはり前半の2年間に新型コロナウイルスの影響で多くの事業が影響を受けましたが、そのなかでも特に対内・対外との「交流」を妨げられたことが残念でなりません。厳しい運営体制のなかでも、支部と本部の役割を明確にしながら、大印工組の存在価値向上に向けて足を止めることなく邁進できたと思っています。

また、高本さんを次期理事長としてバトンを繋げたことに安堵をしています。高本新理事長が所信に掲げられた「組合員企業の業態変革の一助となる活動を心がける」についてももう少し詳しくお話しいただきたいと思っています。

高本: 私も青年部の頃から長年、大印工組の事業に参画をさせていただきました。また、浦久保理事長の勅命で、1期目に渉外特別委員長としてペーパーサミットの事業を、2期目に次世代の人材育成の事業を、微力ながらお手伝いさせていただきました。私が所信で申し上げた業態変革の一助をひとことで申し上げますと、「事業開発」になります。正しく群れながら印刷産業の可能性を拡げる意味で、印刷業界の枠を超えた周辺産業との連携強化を図り、新たな販路を開拓していきたいと思っています。

ペーパーサミットも今年で第3回が終了し、クリエイターとコラボした商品が本当にたくさんできつつあります。地域共生委員会(矢田委員長)では、ペーパーサミットを通じてプランナーやクリエイターをはじめ、ITシステム会社・経営コンサルタントなど、一緒に活動したいと思える方々と、これまで

の印刷業界の枠を超えた仲間として組合に加入していただける施策を検討し組合員の増強を実施します。

また今期から新たに協創特別委員会(伊東委員長)を立ち上げ、文具や紙製品のイベントである「文紙MESSE」をはじめ「紙博」「文具女子博」などに大印工組枠として出展し、他団体との連携強化による「ものづくり」から「サービス業」「物販」など、新しい事業環境を整備します。また次年度以降になると思いますが、全国中小企業団体中央会などからの補助を活用し、海外にも販路を拡げていきたいと考えています。



組織交流 組合参画メリットの充実・強化策を実行

浦久保: コロナウイルスの影響を受けるなか、2021年に手探りでスタートしたペーパーサミットでしたが、今年で第3回目を迎えて子どもから大人までが楽しめる、ほんとうに素晴らしいイベントになりました。今年の5月には愛知県印刷工業組合が主催した「ワクワクぶりと博覧会」が2日間行われ、大阪から始まった小さな波紋が全国に拡がりつつあります。次のステップとして海外を含めた販路開拓に力を注いでいただけることを大いに期待しています。

次にコロナ禍の影響であまりできなかった「組織交流」についてお伺いします。私は支部の活性化がすなわち大印工組の原動力になると考え組合事業を進めてきましたが、高本さんはどのようにお考えでしょうか。

高本: 私も浦久保さんと同意見で、支部の活性化が原動力と捉えています。昨年10月に組織共済・支部サポート委員会が主催した「みんながヒーローBBQ大会」に参加して、支部間交流も必要だと感じました。過去にはボーリング大会やプロ野球観戦を本部主導で行ってききましたが、誰もが隔たりなく参加できるような事業を推進してまいります。また大印工組には13の支部がありますが、その規模や活力度もそれぞれ違います。そのような状況を埋められる、支部単体では行えない事業を組合員例会として本部主導で実施していきたいと考えています。組織活性化委員会(中川委員長)が主催する例会を通じて、支部の壁を超えた新たなコミュニケーションを促進

し、新規加入いただいた組合員のみならず、既存の組合員同士の交流を増やしてまいります。また各社が自社のプレゼンテーションをする場を創り、組合員企業同士の結束と新たなビジネスを促進できる場の提供を行ってまいります。

また今年から新設したパートナーシップ特別委員会(高本禎朗委員長)では他団体との連携、メーカー様・ベンダー様との関係強化によって、各種補助金の獲得まで組合員企業のビジネスを強力にサポートするとともに、パートナーシップ会員の皆様に対しても有益な事業を推進してまいります。

次世代の人材育成 会社を「継ぐ」から「創る」へ!

浦久保: 大印工組の事務局があった大阪印刷会館の3階をリニューアルし、多目的でご利用いただけるスペースを「コラボ・プレイス・オオサカ(CPO)」の名称で今年の6月にプレオープンします。まさに高本さんが目指す、支部を超えた新たな交流の場として活用ください。

では「次世代教育」についてお話を伺いたいと思います。昨年度は大印工組として初めての超越経営者育成プログラムとして「印刷経営革新塾」をスタートさせ、10名の1期生が全員卒業されました。1年間ものあいだ同じ釜のメシを食った仲間との絆は、彼らにとって大きな財産になると思ってい

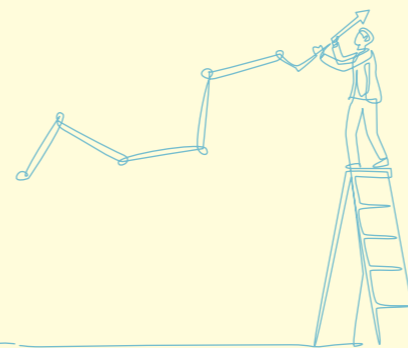
ます。高本さんは人材育成について「ものづくりの印刷工業組合」から次世代の「印刷+α」へと掲げられていますが、具体的にどのような事業をお考えでしょうか。

高本: われわれ中小零細企業の経営者って孤立しがちだと思うんです。そうすると従業員まで元気がなくなっていってしまう。新たに設置した教育研修委員会(吉田委員長)では、働く環境別の交流や勉強会を開催していきます。経営層でいいますと、単にこれまでの「会社を『継ぐ』」のではなく『創る』へ!」アトツギベンチャーとして10年後・20年後の理想的な未来を描き、そこから逆

算して、現実に必要な解決策やシナリオを設定できるような未来創造型アプローチを実施していきます。世界は急速に変わっています。ベンチャーマインドを持って「印刷+α」の実践を目指す経営者としての知見と想像力を深め、同世代と切磋琢磨しながら成長を遂げていく、そして現役親世代が安心して事業承継を行えるような事業に取り組んでまいります。

また大きく変革する社会においては、求められるスキルの変化に適應するため、必要なスキルを習得するリスキリングが必須です。Adobeセミナーや全日本印刷工業組合連合会が提供している「印カレ eラーニング」なども有効に活用しながら、経営者や従業員に向けた未来創造型の「学びの場」を提供します。

経営革新委員会(谷川委員長)は、2期目となる「印刷経営革新塾(今年度は9月からの開講を予定)」の企画・運営が中心となりますが、教育研修委員会と連携しながら大印工組のプレゼンス向上を目指します。



広報渉外 サステナブルな未来を実現するために

浦久保: 企業の成長は従業員の成長なしには成り立たないと思います。経営者と従業員の両輪で学べる場の提供が重要だと思います。また継続的に印刷経営革新塾を継続し、印刷業界全体を盛り上げていけるようなアトツギベンチャーの育成にも期待しています。

最後に「広報渉外」についてお伺いします。私は大印工組の会報誌「PRI・O」を活用して今の印刷業界の現状を対外的に発信する広報誌としてリニューアルするため、巻頭特集として「理事長対談」を4年間続けてきました。また昨年大印工組のSNS「インサツグラム」を立ち上げ、若い世代にも印刷業界の現状を知っていただける情報発信をスタートさせました。高本さんは今後、どのような情報発信の企画をお考えなのでしょうか。またCSR推進委員会から名称が変わり、サステナビリティ委員会が発足しましたが、どのような意図があるのでしょうか?

高本: 今後の広報誌「PRI・O」では広報委員会(田中委員長)を中心に、印刷会社だけに限らず「いい会社」とはどんな会社なのかをテーマにした巻頭特集を企画しています。社会に選ばれる企業になるために「地球に正しい活動(ソーシャルビジネス)」を実践している企業・団体の取材を中心に進めていきたいと思っています。

印刷業界は早くから環境対応を考えたグリーンプリンティング認証制度や情報分野におけるユニバーサル・デザイン=メディア・ユニバーサル・デザイン(MUD)へ

の取り組み、また商工組合として日本初のCSR認証制度を確立するなど、さまざまな取り組みを通じて企業の社会的責任を果たしています。このような活動をしている商工組合は他にはなく、世の中を良くする活動を実践している事例を数多く紹介してまいります。

またCSR推進委員会を改めサステナビリティ委員会(白石委員長)では、広報委員会との連携を視野に、「どういう社会をつくりたいのか」という問いと、「将来どんな未来をつくりたいか?」について、「21世紀型の新しい企業活動「21世紀のいい会社」とは何か?」を考えるきっかけになるような啓発活動を推進していきます。

この両委員会の活動を通じて、新たな印刷産業のあるべき姿=サステナブルな産業のあり方を業界内外に広く発信してまいります。

浦久保: 私が理事長に就任した2020年春からの4年間は、まさに激動の時代でした。新型コロナウイルス感染症の拡大は、世界中の「人・もの・お金」の流れを一斉に止め、未曾有の不況をもたらしました。われわれ印刷業も例外ではなく、全国平均で売上が30%近く減少し、今なおその影響は色濃く残っています。

この間、コミュニケーションのあり方も大きく変わり、デジタル技術の進展と共に新たなスタンダードが生まれました。この変化は一時的なものではなく、コロナ禍前の姿には戻らないという現実を受け入れざるを得ません。こうした状況下で、組合の存

在価値をリセットし、構造改革を断行する必要性を強く感じました。

2021年夏には全日本印刷工業組合連合会から「INSATSU未来トランスフォーメーション」が発刊され、混迷の時代における経営指針が示されました。その中で令和は「超越経営者の時代」と定義されました。超越とは、アップデートすること。本業や業種・業態の枠を超え、先代や先々代の経営者の型を越えることです。印刷業を継ぐのではなく、ベンチャースピリッツを持ち、「印刷+α」の価値を生み出し、次の時代を力強く切り開く超越経営者の育成が急務となります。

また、この間に印刷工業組合の基本機能である「共済」「対外窓口」「連帯」の3つの役割を総点検し、現組合員はもとより、新たに加入いただく方々にとっても魅力あるものにする努力も続けてまいりました。

皆様のご協力とご支援のおかげで、多くの取り組みを実現することができました。この4年間の経験と成果を基に、今後も組合がさらなる発展を遂げることを確信しております。

高本理事長新体制におきましても引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。在任中は大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2024年度

新役員
新委員長の
ご紹介

次世代教育

副理事長 渡辺 貞城

経営革新委員長	谷川 勝重
教育研修委員長	吉田 匡廣
大阪青年印刷人協議会議長	谷口 和宏

組織交流

副理事長 若林 大我

組織活性化委員長	中川 敏之
パートナーシップ特別委員長	高本 禎郎

事業開発

副理事長 山本 素之

協創特別委員長	伊東 裕二
地域共生委員長	矢田 幸史

広報渉外

副理事長 福山 耕治

広報委員長	田中 幸恵
サステナビリティ委員長	白石 陽一

会務運営

専務理事 満谷 健一郎

総務特別委員長	高橋 孝一
---------	-------

経営者も、会社も、
UPDATE

副理事長(次世代教育担当)

渡辺 貞城

トキワ印刷(株) 代表取締役

印刷マーケットは縮小均衡が継続しており、従来ビジネスの延長線上では事業の継続が見通せなくなる事態も想定されるのが、現在の経営環境ではないでしょうか。

そのような環境において10年先・20年先の未来を見据えて、我々印刷会社が存続する為には、「変化に適応してゆく」しかありません。そして変化に適応するためにはしっかりと「学ぶ」ことが重要です。組合では今期、三つの学びの場を提供したいと考えています。

一つ目は経営者自身の教育の場です。まずは経営者や次世代経営者が現状を理解し行動を起こさなければなりません。「経営革新委員会」では印刷経営革新塾等を通じて経営者や経営幹部がアップデートできる場を提供してまいります。

二つ目は従業員教育の場の提供です。大規模な企業では社員教育カリキュラムや研修制度も整っているかと思いますが、中小規模の企業では従業員教育を行う場も時間もないのが現状ではないでしょうか。「教育研修委員会」では、従業員の皆さんが気軽に参加できる研修の場を設け、会社自身のアップデートに繋がります。

三つ目は若手育成の場の提供です。次世代経営者が課題を共有し切磋琢磨できる場として「大阪青年印刷人協議会」への参加を促進し、印刷業界のアップデートに繋がります。

皆様のご積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

仲間と一緒に革新の一步を!

当委員会の名前があらわすように令和の印刷会社には、現状からの革新が必要不可欠ではないでしょうか?

では、どのように革新していくか? 組合員皆さんで考える場に経営革新委員会をしたいと考えます。

具体的には、経営者の皆様に『印刷経営革新塾』を通じて学びの場を提供し、時には、世代を超えて印刷業界の先駆者の方々のお話をパネルディスカッション形式で拝聴し、その後、先駆者の皆様のメソッドは何かを皆で話しあい、分析することで学びを得られるような、新しい形の学びの場を提供できればと考えます。

一人で経営を学ぶことは、非常にハードルが高く、継続にも熱量が必要です。そこで同じ業界の人たちと世代や印刷業としての様々な業態を超えて、一緒に学ぶことにより絆を深め印刷業界の発展に寄与できればと思います。

経営革新は、一足飛びではなしませんが、小さな一歩を踏み出さないかぎり、革新は起こせません。できれば、その一歩を踏み出すきっかけに当委員会が開催するイベントが一助となればと思います。

是非、皆様で学びの楽しみを共有し、これからの不透明な時代を生き抜くすべを身につけていただければと思いますので、皆様のご参加を楽しみにしております。



経営革新委員長

谷川 勝重

(株)タニガワ印刷 代表取締役

会社と社員の成長を促進します

急速な技術進化や国際競争において、新しい知識やスキルが求められる中、日本は「大人の学習意欲の低さ」が国力低下の一因にもなっていると私は感じます。これは印刷業界も例外ではありません。教育への投資や長期教育計画が必要ですが、各企業が教育プログラムを構築するのは人材などの問題で難しさもあります。

教育研修委員会では、経営者自らのアップデートと「会社の成長=社員の成長」と考え、経営者と社員向けの教育研修事業を開始します。組合に所属する会社が強くなるための力を備えられるよう、社長と社員に未来創造型の「学びの場」を提供します。

具体的には、セミナーだけではなく、日々学び合えるコミュニティを作り、オンラインや動画を活用した、オンデマンドな教育環境を構築していきたいと考えております。人材育成のプラットフォームは組合に任せて頂き、日常での個人成長の場を各社の業務を通じて学ぶ。そのような役割分担ができれば、組合参加のメリットになり退社数低下、組合員数増にも繋がる。この2年でそのような教育事業の礎を創っていきたくと考えております。

社員教育にご関心のある社長様・幹部の皆様には積極的に活動へのご協力、ご参加をお願いいたします。



教育研修委員長

吉田 匡廣

(株)デザインコラボレーション 代表取締役

次世代を担う青年印刷人として

昨今の印刷業界においては従来の印刷事業が縮小する反面、新たな技術やサービスを取り入れた「印刷+α」の業態変革による成長のチャンスが潜在しています。大青協では時代の転換期に立つ若手経営者や後継者が、一人で悩まずビジネスや経営について学び相談し合える場を提供します。

今期の大青協は「絆」をテーマに活動してまいります。大印工組における青年部としての役割は、次世代を担う経営者同士のネットワーク形成だと考えます。組合加入の入り口として親しみやすくオープンな会であること、そして参加メンバーが共に活動する中で自ら発信し人間関係を醸成することができる環境であるということが重要です。

各支部に対してどのような価値を提供できるかということも大きな課題です。支部横断型のイベントを主催するなど二世会のない支部も含め組合全体で若手がつながりを持つような取り組みを進めてまいります。

大青協では同年代の経営者や次期経営者が楽しみながら学び、印刷業界の将来について語り合うことができるような、かけがえのない関係づくりを目指します。また共に成長し、メンバーそれぞれが社業を発展させることこそ最大のミッションだと考えます。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



大阪青年印刷人協議会議長

谷口 和宏

谷口印刷紙業(株) 代表取締役



副理事長(組織交流担当)

若林 大我

(株)ユニオン紙器 代表取締役

交流から生まれる組合参画のメリット

長らく続いたコロナ禍により、人が集まることの制限を受け、顔を合わせてのイベント開催が難しい時期がありました。改めて人々が顔を合わせる事の大切さを再認識した今こそ、組合員同士の結束を一段と深め、有意義な交流の場を提供することが求められます。私たちは組合員が互いに支え合い、共に成長出来る場を創造し、絆を強化していく事に努めてまいります。さらにコロナ禍で中断された本部主催のイベントを再開し、新たな形で開催することによって、組合全体の連帯感を高め、安全かつ効果的なイベントを提供し、組合員が楽しみながら学び合い、協力し合える場を作り出します。

組合員企業との連携においても、メーカー様やベンダー様との関係強化が不可欠です。お互いが協力することで、新たな技術やビジネスの展開において優位性を獲得できます。またパートナーシップ会員様との緊密な連携により、双方が共に成長出来るような事業を展開します。

私たちの組合は、困難な状況に立ち向かい、一丸となって前進してきました。未来に向けても、組合員の皆様と協力し、持続可能で発展的な方針を進め、印刷業界全体を牽引していく覚悟です。皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、共に素晴らしい未来を築いていく事を心より楽しみにしております。

組合員の結束と交流

組合員同士の連携と情報交換の場を提供し、協力体制を築くことで、業界全体の発展を促進します。本部主催の定期的なイベントやネットワーキングの機会を通じて、支部単位の集まりから垣根を超えた大印工組の結束を一層強化して参ります。交流、懇親の中で培うことのできる相互理解を深め、仕事に発展できるよう、新規加入いただいた組合員のみならず、既存の組合員同士の交流の場を増やし、事業をアピールできる機会を創っていきます。自社の強み、或いは自社製品をどのように広めていくか、印刷業界では「口コミ」が確実な手段の一つです。そのためにも組合での交流を通じて信頼できる情報交換の場が必要になってきます。

また、他委員会と連携を密にしてセミナーやイベントの内容や日程を共有し参加しやすい環境を整えるようにしていきます。各支部組合員に有益な情報と事業の告知を支部長中心に周知して参ります。

組織活性化委員会の事業は出来るだけシンプルで楽しいものでなければなりません。その為には、先ず委員会メンバー自身が楽しむことが肝要だと考えます。自由に意見を出し合い、相乗効果が生まれるような雰囲気づくりを目指します。微力ではございますが尽力いたしますので、ご支援のほどよろしく申し上げます。



組織活性化委員長

中川 敏之

(株)中川印刷所 代表取締役

組合員とパートナーシップ会員の架け橋として

国内の印刷ビジネスがシュリンクする中、印刷会社は本当の意味で進化を求められています。そして、それに携わる関連業種においても同様であると考えます。

パートナーシップ会員においても印刷産業が魅力的な産業であると共に組合が魅力的な団体でなければ参加する事に疑義が生じます。

新たに創設されたパートナーシップ特別委員会では情報発信を一方通行にするのではなく、組合員とパートナーシップ会員で双方向型のコミュニケーションをとれるように活動します。

また、パートナーシップ会員においても大阪府印刷工業組合に加盟しているメリットを享受していただくと共に、組合員への適時、適切な情報発信などを行い組合員にもメリットを享受して頂けるようパートナーシップ特別委員会を運営していきたいと思っております。

【主な活動内容】

- ①パートナーシップ会員が組合員向けイベントを開催する。
(最新技術の発信・ビジネスモデル共同開発・他)
- ②設備投資に関する助成金/補助金取得の支援・相談窓口
(ものづくり補助金・IT補助金・エネルギー合理化補助金・他)
- ③次世代技術に関する組合員からのヒアリング
(技術開発・ビジネスモデル開発・他)



パートナーシップ特別委員長

高本 禎郎

(株)TOWA 代表取締役



副理事長(事業開発担当)

山本 素之

(株)美生社 代表取締役

組合の可能性を広げる

インフレや円安にはじまり、貧富の格差拡大などが社会問題となり、我々の生活にも大きな影響を及ぼしています。大阪府印刷工業組合もこのような影響を受け、組合員数が400社を切るまでに減少しています。しかしながら印刷産業がこのまま衰退するわけにはまいりません。今まで培ってきた有形無形の組合資産を最大限に活用しながら、新たに印刷業界の枠を超えた周辺の産業と積極的に繋がり協創する活動を推進します。

新理事長の掲げる次世代に対応する新しいスキルを提供出来るよう、2つの委員会が次の事業に着手します。

まずは、新設の協創特別委員会では組合員企業が業態変革のために「売り先」×「売り物」×「売り方」の戦略を検討し、組合向けの補助金を活用し、共通の課題意識や目的を持った組合員同士が共同で事業を開発します。

地域共生委員会では、ペーパーサミットのコンテンツを深耕し、運営をすることで、新たなビジネスやプロダクトを創造します。そして、事業活動によって業界の枠を超えた周辺産業との連携強化を図ります。

自社単体では実現が難しい事業も、組合員が共同で開発できる環境を創出します。20年後・10年後の未来をどうすべきか見据えて「印刷+α」を模索し、実践しながら答えを導き出します。数はチカラです。勇気を出して共に新たな一歩を踏み出しましょう!!

可能性を見出す元気な委員会に

印刷業界の低迷が叫ばれて久しい昨今ですが、日頃から組合活動をしていると、多くの組合員の方々元気な様子を見ることがあります。いつも皆さん非常に元気で前向きに、仕事や組合活動に取り組まれています。

最近ではこれ以上にクリエイティブにチャレンジする組合員が増えています。例えば、クリエイターと共に自社商品を開発してペーパーサミットに出展した後、展示会イベントへの出展やECサイトで販売する仲間なども出現しています。

組合活動を通じて、受注型ビジネスからの脱却や、B to Cビジネスなど、自社の新たなビジネスチャンスを広げる活動をする会社も増えてきた様に思います。

今回新設された協創特別委員会は、大印工組に所属する多くの会社の更なるビジネスの可能性が生まれる様に、外部のイベントへの参画や展示会出展などを中心に、各社が自社単体では実現が難しいような事業を、可能な限り実現できる様な環境を創り出す委員会として設立されました。

この委員会活動を通じて、組合員同士の連携は基より、印刷業界の枠を超えて周辺産業とも連携を持ち、新たな自社のサービスや商品を生み出し、どの様な会社でもビジネスの枠を広げられ、ビジネスチャンスが生まれ易い場を目指していく。まさしく協創していく委員会としてまいります。

私たち自身の可能性を無限に広げ、元気で前向きにチャレンジする委員会にしたいと考えております。



協創特別委員長

伊東 裕二

(株)サンセイ 代表取締役



地域共生委員長

矢田 幸史

(株)サンクラール 代表取締役

ペーパーサミットの発展から新たなステージへ

地域共生委員会ではペーパーサミットと言うイベントを開催し、印刷会社の技術とクリエイターがコラボし、自社商品や企画を作り、販売や発表を経験できる場を提供していきます。

また、ペーパーサミットを機に作った自社商品を販売するサポートを行い、販売や流通に乗せる仕組み作りを印刷組合が窓口として行っていきます。

ペーパーサミットでの経験を通じて、商品作りのノウハウや販売の経験をしてもらい、またクリエイティブチームを有する組織運営に携わってもらう事で、広報や集客についても学べる場にしていき、イベント運営や企画ができるような人材を作っていきたい。

そして今後さらにイベントを大きくしていく事で、ペーパーサミットをひとつのブランドへと昇華させ、全国の印刷組合が各地でペーパーサミットを開催するような全国的なイベントにしていきたいと思っております。

全国で開催される人気イベントを印刷会社が作っていく、印刷会社が作った商品にお客さんが熱狂している、そんなエネルギーに溢れる魅力ある印刷業界を作っていく手段としてペーパーサミットと言うコンテンツを精一杯盛り上げ、素晴らしい商品や人材をどんどん育てていく、そんな魅力的な委員会にしていきたいと思っております。



副理事長(広報渉外担当)
福山 耕治
㈱新聞印刷 代表取締役

サステナブルな社会を牽引

企業の価値基準は利益の追求だけでなく「地球に正しい活動」と繋がっているのか？いまを生きる子供たちに対してより良い社会を残すためにも、私たちは常に考えていかなければなりません。

印刷業界ではGP認証制度やMUDの啓発活動。商工組合として国内初のCSR認証制度の制定など、様々な地球に正しい活動への取り組みを行っていますが、それが価格転嫁に繋がっていないのが実情です。

21世紀のいい会社になっていこうと努力する業界内外の企業に焦点をあてた特集を大印工組の広報誌「PRI・O」で取材・掲載します。また、SNSの「インサツグラム」やウェブサイトを通じて若い世代にも伝わるように発信してまいります。

社会全体を変えるには小さな力かもしれませんが、サステナブルな活動を発信することで共感の輪を広げてゆき、印刷の価値を高めていきたいと考えています。

広報委員会とサステナビリティ委員会が一枚岩となり、新たな印刷産業のあるべき姿を業界内外に発信してまいります。

微力ではございますが、副理事長としての役割りを全身全霊で尽くす所存です。皆さまの応援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

"続けられる"経営のための情報を

これからの印刷業界には、自社と社会が持続可能なビジネスモデルの構築、未来につながる「印刷+α」の仕事への探求が不可欠ととらえ、賛助会員や外部アドバイザーなどの様々な有識者からの情報を積極的に掲載し、「持続可能な」業態づくりのヒントを少しでも多くお知らせしていきます。

さらに、各委員会の活動情報をできる限り吸い上げて集約し、密でタイムリーな情報を組合員の皆様にお伝えできるような仕組みづくりを目指します。

業界内外の方々へも大印工組の活動を幅広くお伝えできるよう、WEB・SNSを伝達ツールとして活用していきます。そのために公式サイトをより使いやすいものに進化させてまいります。

新たなビジネスモデルの発掘や売り先の開拓など、皆さんと一緒に考えていける「場」として広報をおおいに利用してほしいと思います。

とはいえ、難しい内容にはしたくありません。委員会一同、頭を絞りつつも楽しみながら情報発信をしていきたいと考えております。

ぜひ情報提供や記事の寄稿等、皆様のご協力をお願いいたします。



広報委員長
田中 幸恵
ホウユウ(株) 代表取締役



専務理事(会務運営担当)
満谷 健一郎
㈱栄光堂印刷所 代表取締役

円滑な運営と適切な事務局改善

新しい理事長が次のステップ移行のために掲げた「組合資産を最大限に活かし、組合員の増強につなげる攻めの運営に転じて、印刷業界の枠を超えた周辺の産業と積極的に繋がり・協創する『情報産業のハブ』になり『産業の枠を広げる』、そして『組合員各社の可能性を広げる』の3つの軸を核に活動・推進」、ならびに「『モノからコトへ』=『印刷+α』へと、大阪府印刷工業組合の提供事業・サービスを通じて新たな価値創造ができる改革へのチャレンジ」を実現するために総務特別委員会では、会務運営においてそれぞれの事業が円滑に推進・運営できるように、全体のスケジュール管理や情報の共有をはじめ情報伝達方法等の効率化を図り、三役ならびに運営側が組織全体で事業を提供するチームとなるようサポートしていきます。

また、運営の中核となる事務局においても現状の課題に対して現場主体で適切なアップデートを積み重ねることでより良い労働環境構築の一助を担い、今後も持続可能な組織として組合員ならびに組合員企業に有益な組合となるように努めてまいります。

その他、より高効率的で有益性や合理性を鑑みながら付加価値を高めるため、様々な事象においても時には潤滑油的役割となり各委員会間を繋ぐパイプ役としてより多くのサポートが出来ればと考えております。

ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

円滑な組合業務を目指して!

総務特別委員会が本格的に活動を始めて4年が経ちました。

発足以来副委員長として活動させていただいておりましたが、この度委員長を拝命致しました。

総務特別委員会では、定時総代会や理事会など組合の運営方針を決めるための準備、他の委員会との諸調整、本部事務局の運営管理、関連団体との事務連絡等を行います。

また、十分な補償が受けられる各種共済制度も組合員の皆様にご利用頂けるようお知らせしていきます。

我々は業務が円滑に進むように縁の下で支える役割です。そのため、組合のことを一番把握しているといっても過言ではないでしょう。

組合員・各委員会・関連団体との潤滑油に成るべく努めたいと思っており無くてはならない存在です。

理事、委員各位の格別の御協力によりまして、さまざまな施策の推進に全力で取り組んでまいりますので、一層の御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。



総務特別委員長
高橋 孝一
㈱新進社 常務取締役



サステナビリティ委員長
白石 陽一
白石封筒工業(株) 代表取締役

21世紀における「いい会社」

皆様は「持続可能な会社経営」と聞いて、どのような会社を思い浮かべますか？多くの方は「利益を出し続けている会社」とお答えになるのではないのでしょうか。当然利益を出し続けることは企業の存続には必要不可欠なことです。しかし、20世紀に発展した資本主義では「利益を出す」ために環境を破壊し、社会的弱者に対して無理を強いることで利益を追求してきた側面もあると思います。

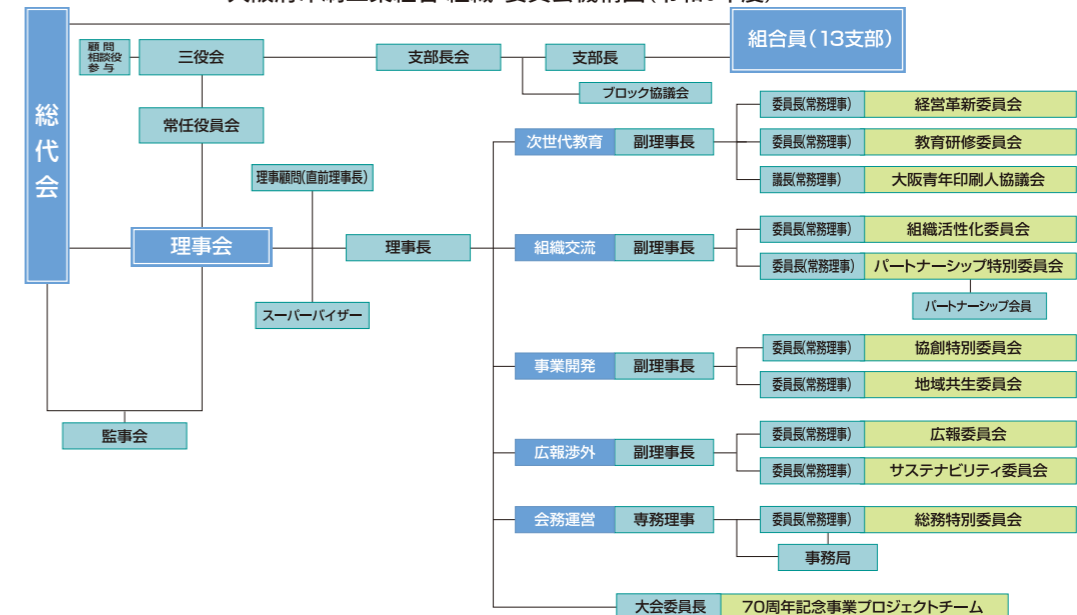
21世紀の今こそ、持続可能な企業経営には、お客様はもちろんのこと、従業員やその家族、地域社会や地球環境、それらを生み出す原材料からサプライチェーンと製品の流通を担うパートナーまで。これらのステークホルダーを企業価値の源として、様々な視点から「持続可能な会社経営」を考察してまいります。

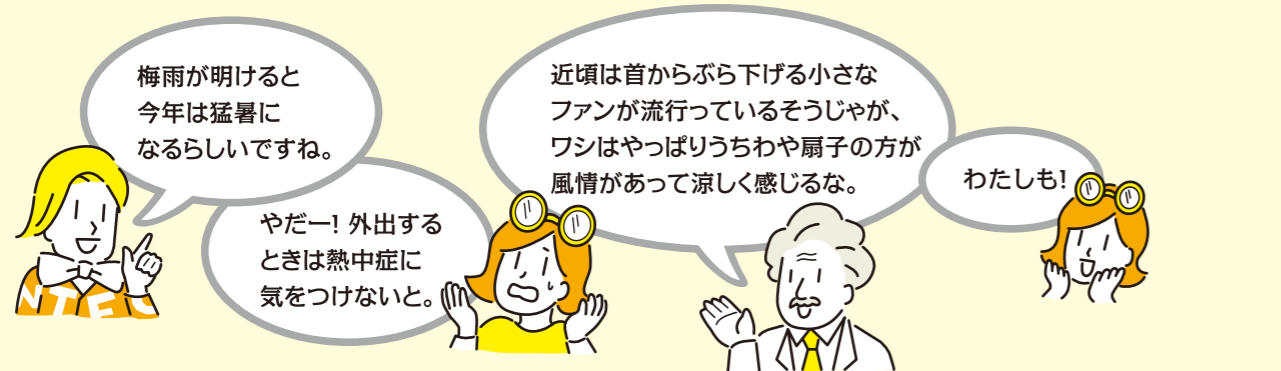
サステナビリティ委員会では、組合員の皆様と共に持続可能な未来を実現するための取り組みを推進していきたいと考えています。

組合員の皆様がESG(環境・社会・企業統治)の観点に配慮した行動を取ることで、持続可能な社会が実現し、結果として社会や環境に貢献できると信じています。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

大阪府印刷工業組合 組織・委員会機構図(令和6年度)





うちわといえば、お祭りやイベントで配られる、スポンサーの名入れうちわ。みんなが持って歩いてくれるので宣伝効果はバツグンらしいですね。

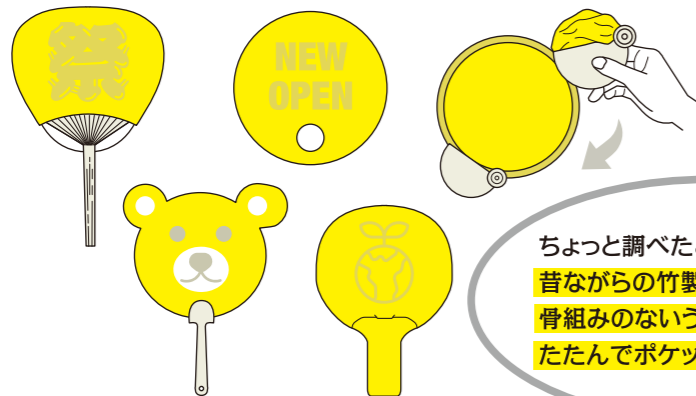
夏の販促グッズの定番じゃな。

色々なうちわ

竹製のうちわ

骨組みなしのうちわ

折りたためるうちわ

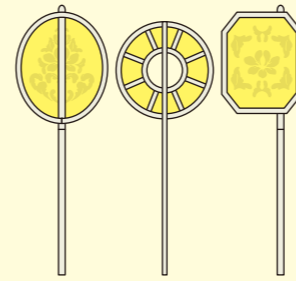


PP製のうちわ

紙製のうちわ

素材でいえばエコな紙製うちわやここ最近ではリサイクルもしやすく環境にやさしいポリプロピレン(PP)製のものが主流のようじゃな。

ちょっと調べたところ、昔ながらの竹製のものもありますが、骨組みのないうちわや、くるりと折りたんでポケットに入るものも。



翳(さしは)

そもそも日本のうちわの原型は中国から伝わった翳(さしは)という柄の長い形状のものだそうじゃ。

当時は風を起こすというよりは、祭礼や厄払いに使われたり身分の高い人が尊厳を保つために顔を隠すための道具だったとか。

あら、そういえばわたしが持っているうちわも風を起こして涼しくするためじゃないわ。

いわゆる「推し活うちわ」のことですね。



LOVE

ずっと応援してます

推し

そう、ライブやコンサートで推しのアイドルに自分の気持ちを伝えるための必須アイテム。ゼ〜ンぶがんばって手作りしたの。

ほお〜、うちわの使い方も時代によってさまざま、どんどん変わってきているということか。

くれぐれも熱中しすぎないようにな。

は〜い!

TSUKATANIの刃物は、信頼される確かな品質で抜群の切れ味を実現！お客様のあらゆるご要望にお応えします。

- 販売商品
- ・ロータリー・平圧加工用
 - ・フレキシブルビナクルダイ*
 - ・ビジネスフォーム印刷用刃物
 - ・製袋用パンチ部品
 - ・トムソン刃
 - ・マグネットシリンダー
 - ・各種ユニット 他



株式会社 塚谷刃物製作所
https://www.tsukatani-hamono.co.jp

本社営業部 〒581-0814 大阪府八尾市楠根町5-30
TEL: 072-996-8770 FAX: 072-996-8777
E-Mail: anvil@tsukatani-hamono.co.jp

東京営業部 〒143-0024 東京都大田区中央7-7-3
TEL: 03-3754-8131 FAX: 03-3754-8134
E-Mail: tokyo@tsukatani-hamono.co.jp

色校正が変わります。



次世代デジタル印刷機

Jet Press 750S

2022年9月より稼働中

作道印刷株式会社
〒578-0921 大阪府東大阪市水走1-12-20
TEL.072-963-6339 FAX.072-963-4013





「どないでもなる」精神で 有限会社の企業価値を高める!



有限会社友和 代表取締役 邊見政勝



有限会社友和



ゴンドラ作業

まいど。お世話になります。私共は有限会社友和の邊見政勝と申します。よく、皆さま「トモワ」と仰っていただくのですが「ゆうわ」でございます。よろしく願い申し上げます。

私共は重量物を運搬し据付ける、そして組立までを生業とする会社でございます。いわゆる重量屋です。創業は都島区で友和興産として始めました。1965年のことです。ちょうど同じく名神高速道路が全線開通したときです。それからしばらくして、1972年より先代の社長から引き継ぎ法人組織に。城東区蒲生で有限会社友和と称し、設立いたしました。私共が36歳のときです。

弊社は製版・印刷機械の搬入、半導体製造装置・液晶パネル製造装置の搬入、海外据付業をメインとする重量屋集団でございます。皆さまは重量屋という職業をご存じでしょうか？ 私共の仕事は手で運ぶことができないモノを設置場所まで安全に運ぶ、お仕事です。手で運べないので、道具が必要になります。2Fに機械を搬入するならクレーン車が要ります。窓の大きさを測ります。機械の大きさを測ります。機械の方が1cm大きいとしましょう。窓の冊子を外して搬入します。そんな、お仕事です。

今まで活躍してくれた、稼いでくれた、お客様の大切な製版・印刷機械の搬出も行います。廃棄だからといって、想い出のある機械をバツカン車に放り込むのを私共は嫌います。弊社の低床トラックに積み込んで、しっかり機械を固定して、きっちり運ぶ。敬意を払って作業することが何より大切なことだと思っております。

搬入・搬出以外にもオフィス・工場移転などの実績もございます。製版・印刷設備だけではなく事務機・椅子・棚・金庫・OA機器なども、お運びいたします。「先に事務機・棚を搬入したため機械が入らない」そんなことはなく、お客様と打ち合わせをし、レイアウトを確認し、搬入の段取りを決め実施いたします。「このパソコン1台だけ廃棄してマニフェストを作成して欲しい」問題ございません。産業廃棄物収集運搬業許可を取得しているためマニフェストの発行が可能です。

ビルごと移転するのであれば1基のエレベーターだと作業がいつまでたっても、終わりません。クレーン車とゴンドラを使用し、作業効率を上げます。交通量の多い場所では道路使用許可申請書を警察署に提出し作業を行います。「何

でもしよる引越屋」とイメージしていたら、それが正解でございます。



ドイツ製 最大牽引質量30t

また昨年、1人で30tまでの重量物を安全に搬送することができるドイツ製の道具も導入いたしました。本体重量が70kgと軽量で持ち運びが容易で、バッテリー式なので環境面も◎。弊社では「持てるフォークリフト」と名付けています。

弊社は引き続き、「どないでもなる」精神で有限会社の企業価値を高め、挑戦し、精進いたします。今後とも、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

■企業データ
社名：有限会社友和
本社：〒535-0005
大阪市旭区赤川4丁目1番18号
電話06-6923-7671
設立：1972年
資本金：300万円
代表者：代表取締役 邊見政勝
<https://yuuwa-riggers-co.jp>

KOMORI
CONNECTED AUTOMATION
印刷会社のスマートファクトリー化を実現するソリューション
MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY
株式会社 小森コーポレーション www.komori.com
本社 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
西日本支社 〒536-0016 大阪府城東区蒲生 2-11-3 TEL.06-6939-3051

超!高速
オリジナルの先端技術!
オフセット輪転機で抗菌加工
特許取得
期待を超える! 印刷の枠を超える! 想像を超える!
SIAA ISO 22196 抗菌加工
株式会社 高速オフセット KOUSOKU OFFSET CO.,LTD.
大阪府西成区北堀江2丁目5番24号 KOUSOKU堀江ビル Tel.06-6556-6500
詳しくはWebサイトを▶▶▶ 高速オフセット 検索

ライメックス LIMEXシート の取り扱い開始!!
SDGs・減プラに対応
名刺、ポスター、ラベル、タグ、メニュー、地図、POP、クリアファイル、電飾フィルム、横断幕、折箱などに最適
レジ袋、ショッパー、ごみ袋も受注生産にて対応可能
KAMIX PAPER SOLUTION COMPANY KAMIX株式会社 (カミックス) 高井田支店：〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通 6-2-10 TEL：06-6785-1036 / FAX：06-6785-1039

地球と子どもたちの未来のために。
SDGs目標達成に貢献する次世代型印刷用インク「サステナブルブラックインク」
産業廃棄物として処理されているインクを回収してリサイクルするエコシステムを採用。貴重な資源を再利用することで、廃棄処理に関わるCO₂排出を抑えています。
インク1tあたりCO₂排出量 約2.17t削減
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 都インキは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。
印刷インキと資材の都インキ株式会社 本社(工場) 〒538-0044 大阪府鶴見区放出東1-7-13 TEL 06-6961-0101 FAX 06-6961-0303
都インキ株式会社 東京支店 〒134-0084 東京都江戸川区東葛西4-24-4 TEL 03-6456-0525 FAX 03-6456-0526
www.miyakoink.co.jp 都インキ

FUJIFILM Value from Innovation
Revoria™
Revoria™ (レヴォリア)は富士フイルムビジネスイノベーションによるプロダクション・プリンティング・ソリューションのブランドです。
わたしたち富士フイルムビジネスイノベーションは、皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、富士フイルムグループの一員として、真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。
富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社 <http://fujifilm.com/fb>
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL:03-6271-5111 (代表)
FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。Revoria、Revoria ロゴ、Revoria Press、Revoria Flow、および Revoria One は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。



事業報告

本部

大青協定例会
4月2日(火)18:00~

広報渉外委員会
4月8日(月)18:00~

大阪印刷関連団体協議会監事会
4月17日(水)14:30~

理事会 4月24日(水)16:00~



(株)大阪印刷会館監査役会

4月17日(水)15:00~

監事会

4月19日(金)11:00~

総務特別委員会

4月25日(木)18:00~

支部

八尾南支部 会社見学&懇親会
4月5日(金)13:00~

南親支部 総会
4月6日(土)・7日(日)

生栄支部 総会
4月12日(金)18:00~

北支部 総会
4月19日(金)・20日(土)

東和支部 三役会・役員会
4月19日(金)17:45~

北親支部 総会
4月22日(月)18:00~

福島支部 総会
4月23日(火)18:00~

堺支部 総会
4月26日(金)18:30~

事業予定

本部

大青協定例会
6月4日(火)18:30~ 大阪印刷会館

広報委員会SNS活用セミナー
6月14日(金)18:00~ 大阪印刷会館

支部対抗ゴルフ大会
6月18日(火) アートレイクゴルフ倶楽部

近畿印刷工業会理事会
6月20日(木)18:00~ ホテル日航大阪

近畿地区印刷協議会総会
6月21日(金)13:00~ シティプラザ大阪

大阪印刷関連団体協議会総会

6月28日(金)17:00~ ホテル日航大阪

大青協定例会

7月2日(火)18:30~ 大阪印刷会館

近畿印刷工業会総会兼代表者会議

7月19日(金)18:00~ ホテル日航大阪

顧問・相談役・参与会

7月23日(火)12:00~ リーガロイヤルホテル

理事会

7月23日(火)16:00~ グランキューブ大阪

支部

東和支部 三役会・役員会
6月6日(木)17:45~ 支部事務局

東大阪支部 総会
6月8日(土)・9日(日) 片山津温泉 佳水郷

福島支部 定期健康診断
6月10日(月)~12日(水) 福島健康管理センター

東和支部 三役会
7月4日(木)18:30~

八尾南支部 夏季ビアパーティー
7月26日(金)18:00~ 料亭天繁

※記載の事業予定については、変更もしくは中止になる場合があります。 ※開催場所・時間等の記載のないものは未定です。

INFORMATION

【新入会員】 ■(株)バリューイノベーション(東和支部)米田祐樹 代表取締役
〒530-0026 大阪市北区神山町1-5 扇町公園ビル5F
TEL:06-6315-4111/FAX:06-6315-4112

■(株)ディーワーク(福島支部)山口浩 代表取締役
〒532-0026 大阪市淀川区塚本3丁目14-6
TEL:06-6308-1591/FAX:06-6308-1615

■スポットライト(天親支部)山下悦令 代表
〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10
ATCビル10F棟10FD-1-106 TEL:050-3559-3502

■伸栄紙器工業(南親支部)三栄宏章 代表取締役
〒547-0016 大阪市平野区長吉長原4丁目13番3号
TEL:06-6709-3619/FAX:06-6709-3665

【代表者変更】 ■丸山印刷(第一営業部三課(北支部)新代表に横野顕久氏が就任
■三都屋印刷(有) (なにわ支部)新社長に中田佳秀氏が就任
■千田印刷(株) (なにわ支部)新社長に千田大介氏が就任

【訃報】 ■今川武雄氏(東和支部) (株)今川印刷(前代表者) 2月6日死去 94歳
■亀谷政雄(なにわ支部) 株式会社(代表者のご尊父) 4月11日死去 95歳

事業報告

南親支部 2024年度 南親会総会旅行 4月6日(土)・7日(日)



例年この時期に行っている南親会総会旅行が、去る4月6日と7日の土日で行われた。今年は森の都 仙台となっており、初日は海の幸、2日目は牛タンと胃袋には刺激的な2日間となった。

9時20分伊丹発の飛行機に乗り、お昼前には仙台に到着。まだ肌寒さが残るなか、バスに乗り換え一路昼食会場である鮎勤に。海の幸をたらふく頂いたあと、仙台城跡、瑞鳳殿を散策し、小雨が降ってきたところでホテルに到着。ゆっくりと時間をかけて温泉に入ったあと、宴会会場に集合し酔っぱらう前にきちんと例会を済ませ、奥村新支部長の挨拶でいよいよ宴会がスタート! ホテルスタッフ皆さんの対応が素晴らしく、非常に楽しい宴会となった。

翌日は前日の小雨もおさまり良い天気にも恵まれ、観光船による最高の松島巡りができた。2日目の昼食は待望の牛タン。これを楽しみにしていた人も多く、本場の味を堪能できた。空港に向かう前に仙台大観音を見学。これには賛否ありますが話のネタには良いのではないのでしょうか。19時大阪空港に無事到着し、飲んで食べての2日間もとうとう終わりとなり、今期の総会旅行は良いな!と改めて思う素晴らしい2日間となった。

新支部長の奥村さん、これから4年間よろしくお願ひいたします。
(報告/南親支部 (株)ユニオン紙器 若林大我)

生栄支部 総会 4月12日(金)18:00~



令和6年度、生栄支部総会が、令和6年4月12日(金)大阪印刷会館において18時より執り行われた。



総会后、桜ノ宮駅「穴場寿司」に移動し懇親会を開催した。支部運営や自社についてなど歓談し、和気あいのなか閉



会した。
(報告/生栄支部 支部長 松原利行)

heart

抗菌・抗ウイルスの名刺と封筒をご用意しています

対面での名刺交換、資料の手渡しや郵送でも安心してお使いいただけます

Ag+ 銀イオンのチカラで細菌やウイルスの増殖を抑えます

DTK 印刷関連機械を売るなら"DAITSU"へ!!

遊休機械を現金にて高価買取致します! 買取が出来ない機械につきましても、ご希望にあわせて処分も可能ですのでお気軽にご相談下さい。

《買取査定 対象機械》
オフセット印刷機/シール印刷機/フォーム印刷機
CTP/断裁機/製本機/トムソン機/製袋機 など

大通機械販売株式会社 〒577-0012 大阪府東大阪市長田東 2-1-33
TEL:06-6747-3561 FAX:06-6747-3591 MAIL:e-mail@daitso-m.co.jp

www.daitso-m.co.jp

事業報告

北親支部 春季定時総会 4月22日(月)18:00~



令和6年4月22日(月)北親支部の春季定時総会が、ホテルグランピア大阪20階鶴寿の間で、18時より22名の出席のもと開催された。

総会と懇親会の2部制で行われ、総会では藤田副委員長の司会で始まり、5つの議案について山本議長のもと審議され、すべて可決された。

続いて、二水会(青年会)の速水会長から活動報告が行われた。来賓には、大阪市北消防署 副所長消防監 倉澤律善様をお招きし、北消防署の活動内容などをご説明いただいた。

第2部の懇親会では、来賓に浦久保理理事長をお招きし、4年間の大阪府印刷工業組合の活動内容を熱く語っていただ

いた。乾杯後は、恒例のピンゴゲームで和やかな時間を過ごし、メンバー間の親睦を深めることができた。

最後は、速水前支部長の閉会の挨拶が行われ、21時に閉会となった。

(報告/北親支部 ネオライト工業(株) 山本隆之)

福島支部 総会 4月23日(火)18:00~

令和6年度の福島支部総会を4月23日(火)18時より、ホテル阪神大阪において正組合員22名、委任状12通を受理し開催した。



山崎新支部長

令和5年度の事業報告を荒川副支部長より報告いただき決議事項へと移った。令和5年度決算案を山崎会計部長、監査報告を谷口会計監査に報告していただき共に承認された。今回は、令和5年度予算書になかった「高野山特別寄進」と「能登半島地震義援金」の支出があったが、組合

員の皆様のご理解をいただき無事承認され、ありがとうございました。続いて、令和6年度の事業計画案を竹本副支部長、予算案を山崎会計部長より上程、すべてご審議いただき承認された。

本年は役員ならびに委員の改選年にあたり中川支部長から新支部長に山崎一彦氏が満場一致で承認され、新しい役員・委員・本部委員の発表があった。山崎支部長は「次代へ引き継ぐための人選をいたしました。各委員会は委員長の若返りと旧



旧役員の皆様お疲れさまでした

役員のサポートをもって次の世代へ行事の流れを引き継ぐように、自覚をもって考え、行動してほしい」と委嘱状を渡された。

その後、旧役員4名に感謝状の授与があり、一言ずつ退任の挨拶と感謝の言葉があった。総会の最後になったが、緑青会谷口副会長より活動報告があり、新年度がスタートした。

19時30分より大島新副支部長の司会で懇親会が始まり、若山新副支部長の乾杯で冷たいビールにやっと落ち着いた。各委員会では新委員長より委員に委嘱状が手渡され、3人の新副支部長も各テーブルの組合員へ挨拶にまわり、活気のある総会の懇親会となった。楽しいひと時を過ごし、各委員会の行事のお知らせのあと、福井新副支部長の中締めでお開きとなった。

(報告/福島支部 (株)中川印刷所 中川敏之)

著名営業案内

(順不同)

寿印刷(株) 西淀川区歌島1-4-4 TEL.6471-3434 FAX.6472-9840	青葉印刷(株) 都島区中野町2-10-11 TEL.6351-5428 FAX.6351-5299	田中手帳(株) 住之江区平林南1-2-52 TEL.6681-8648 FAX.6681-0058	富士精版印刷(株) 淀川区西宮原2-4-33 TEL.6394-1181 FAX.6394-1199
(株)ケーエスアイ 西成区南津守7-15-16 TEL.6652-8000 FAX.6652-8894	白石封筒工業(株) 東大阪市高井田中4-1-22 TEL.6789-0018 FAX.6789-0028	キハラ工芸(株) 中央区内淡路町2-1-10 TEL.6943-7955 FAX.6943-7958	ウエノ(株) 淀川区西中島7-4-17 TEL.6301-1555 FAX.6301-1557
(株)一心社 天王寺区大道1-14-15 TEL.6771-1121 FAX.6772-6970	サン美術印刷(株) 東成区東今里2-15-30 TEL.6976-0231 FAX.6978-2807	(株)美生社 西成区出城1-7-4 TEL.6647-8555 FAX.6647-3176	レスター工業(株) 中央区糸屋町2-3-2 TEL.6941-8572 FAX.6941-0781
大興印刷(株) 大阪市港区弁天1丁目2番1号 大阪ベイタワーオフィス16階 TEL.6577-2205 FAX.6577-2207 神戸ポートアイランド工場 神戸市中央区港島南町4-6-3 TEL.078-303-3660 FAX.078-303-3669	(株)フリーテック 天王寺区寺田町1-3-8 TEL.6772-3300 FAX.6772-6424	マツモト(株) 中央区上町1-15-36 TEL.6762-9151 FAX.6762-7292	(株)NPCコーポレーション 北区天満1-9-19 TEL.6351-7271 FAX.6352-7479
岩岡印刷(株) 住之江区中加賀屋4-2-10 TEL.6685-5221 FAX.6685-5634	内外インキ製造(株) 福島区海老江8-10-1 TEL.6458-1161 FAX.6458-3808	NIKKO 日広株式会社 八尾市若林町2丁目127番地 TEL:072-948-1151(代)	和光製版(株) 東成区深江北2-10-5 TEL.6972-7770 FAX.6972-7775
大同印刷(株) 鶴見区鶴見4-6-4 TEL.6934-2121 FAX.6934-2128			

木とともに未来を拓く

木とともに未来を拓く総合バイオマス企業として、これまでにない新たな価値を創造し続け、真に豊かな暮らしと文化の発展に貢献します。



日本製紙株式会社

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 〒101-0062 TEL.03-6665-1111
www.nipponpapergroup.com



FUJIFILM
Value from Innovation

お客さま一社一社の
変革ストーリーを、共に紡ぐ。



FUJIFILM

最適生産ソリューション

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社 富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社



組合員[約400社]や外部に向けて自社の魅力をアピール!

PRINTING OF OSAKA

PRI・Oに
広告を出しませんか?

随時受付中

06-6353-3035

大阪府印刷工業組合 担当:大喜多まで

経営者／管理者様 必見！ 現場目線のご提案なら誠伸商事へ

作業時間 40%カット 利益率大幅改善



～DTP・制作・製版現場～ 省人化のご提案

前工程：DTP 作業自動化で日々の作業の効率化のご提案をするサービスです。

- ① office データ PDF 変換
- ② デジタル検版ツール
- ③ ヌリタシ自動作成
- ④ リッチブラック問題
- ⑤ 自動面付

後工程：ディーポス / 用紙管理・出荷管理など後工程の効率化のご提案をするサービスです。

- ① 原紙管理
- ② 残紙管理
- ③ 出荷管理
- ④ 倉庫管理

SEISHIN 誠伸商事株式会社 ■北関東 ■静岡 ■新潟 ■東北
www.seishin.co.jp 〒145-0062 東京都大田区北千束 2-9-10

Horizon Change the focus

小・中ロット向け無線綴じシステム MiniCABS

小ロット生産から中ロット生産まで幅広い生産に対応

自動化による優れた操作性と大型製本機に匹敵する性能で製品質の安定化を実現し、多様化する市場のニーズに柔軟に応えます



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

fb.me/Horizon.sns

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
 東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
 京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
 福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
 仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

令和6年 春の叙勲 西井幾雄 元大印工組理事長が旭日双光章を受章

令和6年春の叙勲が4月29日に発令され、西井幾雄元理事長(現大印工組顧問/北支部・株式会社NPCコーポレーション代表取締役社長)が旭日双光章を受章した。

西井氏は昭和20年4月生まれ。平成8年4月に大印工組常務理事に抜擢され教育委員会やマーケティング委員会委員長を歴任。平成14年5月には副理事長に就任し、全印工連が策定した「業態変革推進プラン」、「業態変革実践プラン」に関して説明会等を開催のうえ自ら説明を行い、印刷会社が生き残る条件となることを説いた。平成20年5月に大印工組 第11代理事長に就任し、「印刷産業の未来研究会」を立ち上げ自ら座長となり、業界の生き残る条件を研究し発表した。

「令和6年 能登半島地震」義援金のご報告とお礼

平素は当組合事業運営に何かとご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

このたび、石川県能登半島地震により被災された組合員の皆様に対する義援金募集のお願いを申しあげましたところ、多数の組合員の皆様方から合計288万円の義援金を賜りました。被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、義援金を賜りました組合員の皆様には厚くお礼申し上げます。

皆様から賜りました義援金は全国各工組から寄せられました義援金と併せて、全印工連を通じて被災地工組、組合員にお見舞金として、贈らせていただきました。

今後とも組合運営につきまして、なにとぞご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年4月24日 大阪府印刷工業組合 理事長 浦久保 康裕

「PRI-O」印刷委託先：本年4月の広報渉外委員会にて協議の結果「株式会社ハラタ」様に決定いたしました。多数のご応募ありがとうございました。

今月号の
用紙

シルバーダイヤS

(塗工紙・104.7g/m² AYY (57.5)) (表紙・本文とも)

当社A2マットコート紙の関西以西限定銘柄です。伝統技術と長年の経験を継承し、お客様の声を取り入れながら造り上げた、西日本で最も品質に定評のあるマットコート紙です。

用紙提供：日本製紙(株) 関西営業支社 印刷用紙グループ TEL.06-6363-7184

デザイン・制作：(有)ティーズ/印刷：(株)ハラタ

あなたのための、DXでありたい。

DXという言葉がなかった時代から、

デジタルでビジネスの仕組みを変えてきた大塚商会。

テレワークやAIの活用、紙文書の電子化など、

新しい働き方を時代に先駆けて自ら取り入れ、

体感し、お客様に提案してきました。

あなたのビジネスの現場で、

ほんとうに役に立つ生きたソリューションを。

それが、大塚商会のめざすDXです。



あなたのビジネスに、大塚商会の提案力と対応力を。
<https://www.otsuka-shokai.co.jp/dx/>



大塚商会

株式会社大塚商会 東京本社：〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4 札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡